

2020年3月期 第2四半期決算説明会（投資家・アナリスト向け） 主な質疑応答

1. 実施日：2019年11月8日（金）
2. 説明者：雪印メグミルク株式会社 代表取締役社長 西尾 啓治
雪印メグミルク株式会社 常務執行役員 中島 隆男
3. 質疑応答内容

Q1：2020年3月期上期決算は、会社計画として順調な業績だったと理解しています。年間の利益計画の達成に向けた意気込みについて聞かせて下さい。

A1：上期については、増収増益とまずまずの結果であり、年度計画達成に向けては軌道値であったと言えます。原材料コスト、オペレーションコスト、固定経費などの増加はありましたが、価格改定に伴う販売単価差のプラスや宣伝促進費を効率的に活用したことなどにより利益増となりました。下期も同様な傾向だと想定していますが、例えば、消費動向や物流費、エネルギー費用など不透明な点もあります。不透明な要素や環境変化を踏まえつつ、諸コストの的確な管理などにより当初予想を達成出来るよう取組んでまいります。

Q2：来年5月に発表予定の次期中期経営計画について、現時点でのメッセージを伺いたい。また、不採算事業等に対する構造改革の予定についても伺いたい。

A2：次期中計の詳しい内容は、来年5月に発表する予定です。現時点では、当社グループの成長軌道が想定できるような中計にするつもりです。また、メーカーとしての「ものづくり」により、市場を牽引し、利益を創出出来る商品を市場に導入したいと思っています。さらには、不採算部門を含めた事業の構造改革に正面から取り組み、道筋をつける中計にしたいと思います。

Q3：海外事業の一部を連結化したということですが、売上高・営業利益規模のイメージを教えてください。

A3：2019年度計画として想定している海外事業全体の規模は、単純合算で売上高約140億円、営業利益約7億円です。また、海外チーズ事業3社では、単純合算で売上高約43億円、営業利益約3億円という見通しです。今期、連結化した2法人については、単純合算で売上高約26億円、営業利益約2億円といった規模を想定しています。

※参考：2019年度計画 連結数値予想

海外事業全体 売上高 約105億円 営業利益 約5億円

Q 4 : 2020 年 1 月発売予定の「乳酸菌ヘルベヨーグルト」について詳しく教えてください。

Q 4 : 日本で初めて目や鼻の不快感を軽減する機能を訴求出来る機能性食品であり大いに期待しています。例えば、ハウスダストやダニによる目や鼻のアレルギーは通年型であり、本商品も通年型として展開するつもりです。新発売のタイミングでは、テレビコマーシャルの放映も計画しています。同じ、機能性表示食品である「ガゼリ菌 SP 株商品群」のヨーグルトと「乳酸菌ヘルベヨーグルト」をセットにした売場展開を進めていきたいと思っています。

注意：皆様にご理解いただきやすくするために一部編集しています。

以上